

\*本リリースは、株式会社エアロネクスト、セイノーホールディングス株式会社、株式会社自律制御システム研究所から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたいお願い申し上げます。

# NEWS RELEASE



2021年6月1日

株式会社エアロネクスト  
セイノーホールディングス株式会社  
株式会社自律制御システム研究所

## エアロネクスト、セイノーホールディングスと ACSL と資本・業務提携

～3社で経済合理的なドローン物流市場の創出に向けて、機体の安定供給に関する協業を発表～

次世代ドローンの研究開発型テクノロジースタートアップ、株式会社エアロネクスト（東京都渋谷区、代表取締役 CEO：田路 圭輔、以下 エアロネクスト）は、セイノーホールディングス株式会社（岐阜県大垣市、代表取締役社長：田口 義隆、以下 セイノーHD）と株式会社自律制御システム研究所（東京都江戸川区、代表取締役社長兼 COO：鷺谷 聡之、以下 ACSL）と、この度、セイノーHD をアンカーLP とする Sector-Focused Fund である Logistics Innovation Fund 投資事業有限責任組合と ACSL のコーポレートベンチャーキャピタル（CVC）である ACSL1 号有限責任事業組合を通じての資金調達による資本提携ならびにドローンを活用した物流サービスに関して業務提携いたしましたので、お知らせいたします。

今後 3 社は、ドローン物流市場の立ち上げに必要な経済合理性の検証、リーズナブルな価格の機体の提供及び機体の安定供給体制の構築と、これによるドローン物流市場の創出に関する協業を開始いたします。



物流専用ドローンの最新試作機



物流専用ドローンの最新試作機(側面)



SkyHub®ロゴ

エアロネクストは特に物流分野に力を入れ、機体の信頼性を高めるとともに、社会実装に必要な安心・安全を確保できる独自のテクノロジーを活用した空の社会インフラ構築を目指しております。2021年1月には、ドローン配送サービスを主事業とする戦略子会社「株式会社 NEXT DELIVERY」を設立。さらに同月にはセイノーHD と、新スマート物流の事業化に関する業務提携契約の締結を発表し、現在、山梨県小菅村にて、ドローン配送を組み込んだ新スマート物流のしくみ“SkyHub®\*1”の開発とサービスモデルの実証と実装により、既存の物流課題の解決と新スマート物流の推進に共同で取り組んでいます。

また、機体の開発においては、独自の機体構造設計技術 4D GRAVITY®\*2 をコアに、物流専用機体の研究開発に注力しています。ACSL とは、2020年8月に4D GRAVITY®搭載の産業用ドローンの共同開発契約と、開発機体の製造・販売に関する4D GRAVITY®特許群のライセンス契約の締結を発表後、2021年3月には、2022年度の「空の産業革命レベル4\*3」を見据え、共同開発を進めてきた成果として、物流用ドローンの最新試作機を発表したばかりです。

\*本リリースは、株式会社エアロネクスト、セイノーホールディングス株式会社、株式会社自律制御システム研究所から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたくお願い申し上げます。

# NEWS RELEASE

3社は相互の理念と考えを共有し、エアロネクストの独自技術と知的財産を土台にした機体を含む包括的なドローン配送サービスの開発力、セイノーHDの幹線ならびにラストワンマイルの物流における実績とネットワーク、ACSLの補助者なし目視外飛行（Level3）の豊富な経験とセキュアで安心なドローンの社会実装の実績を持ち寄り、ドローン物流市場の立ち上げに必要な経済合理性の検証、リーズナブルな価格の機体の提供及び機体の安定供給体制の構築と、これによるドローン物流市場の創出に向けて、協業してまいります。

以上

【このニュースリリースへのお問い合わせ】

株式会社エアロネクスト 広報部（担当：伊東）

Tel：03-6455-0626 Email：[info@aeronext.com](mailto:info@aeronext.com)

セイノーホールディングス株式会社 オープンイノベーション推進室（担当：須貝）

Tel：03-3851-2625

株式会社自律制御システム研究所（ACSL）カスタマーリレーション（担当：廣嶼（ひろしま））

Tel：03-6661-3870 Email：[sales@acsl.co.jp](mailto:sales@acsl.co.jp)

## 資料

### \*1 SkyHub®

既存物流とドローン物流をつなぎこみ、地上と空のインフラが接続されることで、いつでもどこでもモノが届く新スマート物流のしくみ。ドローン配送が組み込まれること、共同配送を実現する、オープンプラットフォームかつ標準化したしくみであることが特徴。SkyHub®の導入は、物流改革という側面から人口減少、少子高齢化による労働者不足、特定過疎地の交通問題、医療問題、災害対策、物流弱者対策等、地域における社会課題の解決に貢献するとともに、住民の利便性や生活クオリティの向上による住民やコミュニティの満足度を引き上げることが可能になり、地域活性化を推進するうえでも有意義なものといえる。

### \*2 4D GRAVITY®

機体重心を最適化することで、飛行中の姿勢、状態、動作によらずモーターの回転数を均一化して、安定性・効率性・機動性といった産業用ドローンの基本性能を向上させるエアロネクストが開発した構造設計技術。この技術は、機体の分離結合構造とペイロードの接続の仕方に特徴を有しており、エアロネクストは、この技術の特許化して4D GRAVITY®特許ポートフォリオとして管理している。4D GRAVITY®による基本性能の向上により、産業用ドローンの新たな市場、用途での利活用の可能性も広がる。

### \*3 空の産業革命レベル4

2020年7月に発表された小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会による「空の産業革命に向けたロードマップ2020」で明記されている、2022年度を目標とした「有人地帯での補助者なし目視外飛行」の実現フェーズのこと。

\*本リリースは、株式会社エアロネクスト、セイノーホールディングス株式会社、株式会社自律制御システム研究所から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたくお願い申し上げます。

# NEWS RELEASE

## 【株式会社エアロネクスト とは】

IP 経営を実践する次世代ドローンの研究開発型テクノロジースタートアップ、エアロネクストは、「Design the sky through technology」を使命として、空が社会インフラとなり、経済化されて、ドローンで社会課題を解決する世界を生み出すために、テクノロジーで空を設計する会社です。コアテクノロジーは、機体重心を最適化することで産業用ドローンの安定性、効率性、機動性といった基本性能を向上させる、独自の構造設計技術 4D GRAVITY<sup>®</sup>。この 4D GRAVITY<sup>®</sup>を産業用ドローンに標準搭載するため強固な特許ポートフォリオを構成し、4D GRAVITY<sup>®</sup>ライセンスに基づくパートナーシップ型のプラットフォームビジネスをグローバルに推進しています。

\*会社概要は <https://aeronext.co.jp/company/> をご覧ください。

## 【セイノーホールディングス株式会社】

セイノーホールディングスは、価値創造型総合物流商社を標榜し、お客様に「時空を超えた価値提供」を目指しています。お客様の繁栄を基軸に、日本全体の効率化を意識したプラットフォームを構築すべく、オープンニュートラルな関係で業界内外において手を取り合い、お客様により良い最適なサービスを提供する「オープン・パブリック・プラットホーム構築 (O.P.P.)」を具現化させることをグループの全体戦略としています。ラストワンマイル領域においては、生活様式の変化や構造変化に対応すると共に、買い物弱者対策、貧困家庭対策等の社会課題解決型ラストワンマイル O.P.P.の構築を積極的に推進・拡大しています。

\*会社概要は <https://www.seino.co.jp/seino/shd/overall-condition/> をご覧ください。

## 【株式会社自律制御システム研究所とは】

ACSL は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

\*会社概要は <https://www.acsl.co.jp/company/> をご覧ください。

\*エアロネクストおよびエアロネクストのロゴおよび、「4D GRAVITY (R)」「SkyHub (R)」は、株式会社エアロネクストの商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。